

一般社団法人 日本神経精神薬理学会
第 74 回拡大理事会議事録

日 時 2020 年 11 月 14 日 (土) 13 : 00~15 : 00
場 所 Zoom を用いての遠隔会議
出席理事 中込 和幸、大隅 典子、井上 猛、岩田 仲生、大森 哲郎、尾崎 紀夫、
菊地 哲朗、喜田 聡、北市 清幸、久住 一郎、成田 年、橋本 均、服部 信孝、
南 雅文、宮川 剛、宮田 久嗣
欠席理事 山脇 成人
以上 17 名中 16 名出席
出席監事 吉岡 充弘
欠席監事 西川 徹
出席委員長 橋本 亮太、渡邊 衡一郎、新田 淳美、森尾 保徳、池田 和隆、吉尾 隆
欠席委員長 内田 裕之、齊藤 卓弥
議 長 中込 和幸

上記のとおり理事の過半数の出席があり、本会議は有効に成立した。

冒頭に中込理事長から逝去会員のお名前が読み上げられ、黙祷が捧げられた。
名誉会員 栗原 久 先生

議 案 :

前回 (第 73 回) 議事録の確認がなされ、異議なく承認された。

報告事項

1. 第 50 回年会開催報告 (大隅会長)

大隅会長より年会開催について報告された。

テーマ : レジリエントな心をつくる

日 時 (Web 開催) : 2020 年 8 月 21 日 (金) ~23 日 (日)

オンデマンド視聴 : 2020 年 8 月 21 日 (金) ~8 月 31 日 (月)

会 長 : 大隅典子 (東北大院医学系研究科)

合同開催 : 第 42 回日本生物学的精神医学会年会
第 4 回日本精神薬学会総会

2. 各種委員会報告

以下、提出資料に基づき、各種委員会報告がされた。

a. 執行委員会 (中込委員長)

直前の委員会開催が報告された。

b. 総務委員会 (北市委員長)

総務委員会の活動が報告された。

・2020 年 8 月 5 日から 2020 年 11 月 11 日までの会員動向について以下の通り報告された。

会員数	1,960 名
内訳	
名誉会員	30 名
功労会員	49 名
評議員	327 名
一般会員	1,330 名
学生会員	211 名
法人会員	13 社
新入会	138 名
退会	25 名

- ・ Web 選挙実施報告がされた。
- c. 財務委員会(大隅委員長)
 - ・ 財務執行状況について審議事項で扱う旨が伝えられた。
- d. 倫理委員会(尾崎委員長)
 - ・ 統合指針が来年度中に施行予定であり、今後も着目する旨、報告がされた。
- e. 編集委員会(宮川委員長)
 - ・ 2020年11月9日時点のNPPR論文掲載・投稿状況について以下の通り、報告がされた。
投稿数 65 演題、掲載数 39 演題 (累計投稿数 172 演題、累計掲載数 133 演題)
 - ・ 収支状況、科研費(研究成果公開促進費)への申請が完了した旨、NPPR各賞受賞者14名の報告がされた。
- f. 国際学術委員会(新田委員長)
 - ・ 50周年会における国際学術委員会委員企画シンポジウム実施報告がされた。
 - ・ 今後のAsCNP・CINP関連学会の大会スケジュールの報告がされた。
- g. 広報委員会(橋本委員長)
 - ・ 取材対応2件の報告がされた。
 - ・ 持効性注射剤に関する「要望書」に関する現状報告がされた(薬事委員会との共同報告)。
- h. 企画委員会(喜田委員長)
 - ・ 50周年会における教育講座10企画の実施報告がされた。
- i. 学術賞選考委員会(大森委員長)
 - ・ 2020年度の各賞受賞者3名の報告がされた。
 - ・ JSNP Excellent Presentation Award for CINP 審査経過報告があり、Virtual World Congressへの開催変更に伴い、以下の通り実施する旨が、決定された。
 - ・ 既存応募者へ発表有無の確認し、発表辞退の場合は、応募が無効となる。
 - ・ Late-Breaking Abstractsも応募対象とする。
- j. トランスレーショナル・メディカル・サイエンス委員会(森尾委員長)
 - ・ 本年4月以降ではコンサルテーションの申し込みは無く、この1年では2件となった旨、報告がされた。
- k. 薬事委員会(渡邊委員長)
 - ・ 持効性注射剤に関する「要望書」に関する現状報告がされた(広報委員会との共同報告)。
- l. COI 委員会(宮田委員長)
 - 特段の報告事項はないとの報告がされた。
- m. クロザピン関連対応タスクフォース(橋本委員長)
 - ・ クロザピン普及のための活動報告およびエビデンス報告がされた。
- n. 精神科治療ガイドラインの普及・教育・検証活動委員会(橋本委員長)
 - ・ 本年4月より本学会、うつ病学会、臨床精神神経薬理学会と合同で、精神科治療ガイドラインの普及・教育・検証活動委員会(略称:EGUIDE委員会)が発足し、ガイドラインの改定・普及・教育・検証活動(Web講習、単剤治療率調査等)を行っている旨、報告がされた。
- o. 中枢薬専門薬剤師あり方検討 Working Group(吉尾委員長)
 - ・ 精神科専門薬剤師や各セミナー開催に関しての活動報告がされた。
- p. Nomenclature Working Group(内田委員長)
 - ・ 内田委員長欠席の為、中込理事長より活動報告がされた。

- q. 統合失調症薬物治療ガイドラインタスクフォース(中込委員長)
- ・臨床精神神経薬理学会と合同でガイドラインの改定、英文化、学会発表を行なった旨の報告がされた。
- r. PPPs タスクフォース (山脇委員長)
- 山脇委員長欠席の為、森尾委員より報告がされた。
- ・WG2 に続き、WG3 も精神・神経データシェアリング推進組合設立準備委員会の設立に伴い活動を終了し、WG4 も含めて PPPs タスクフォース全ての活動を終了する旨、報告がされた。
- s. 会員交流促進タスクフォース (宮川委員長)
- ・Twitter および Facebook の更新、50 回年会および脳科学サロン (2 回実施) での活動報告がされた。
 - ・ネット交流調査および企画募集 (検討中) を行い、脳科学連合と協力し今後も上記企画を開催予定である旨、報告がされた。
- t. 先端研究推進基盤構築タスクフォース (成田委員長)
- ・アンケートの結果報告がされ、精神医学系関連研究領域と感染学研究領域の融合研究、ステムズ神経薬理学領域への参画の現状、神経精神薬理学領域における (人気のある) 論文投稿先オンラインジャーナルの調査に関して報告がされた。
 - ・広報活動、学会入会活動、年会演題投稿依頼を継続して行う旨、報告がされた。
- u. 児童思春期神経精神薬理タスクフォース (齋藤委員長)
- 齋藤委員長欠席により、活動報告は次回に行うこととした。
- v. 不安症治療ガイドラインタスクフォース (井上委員長)
- ・社交不安症ガイドラインの MINDS 登録準備中であり、強迫症、パニック症については、今後、ガイドライン作成後に MINDS 登録はせず公表する旨、報告がされた。
- w. 50 周年記念事業ワーキンググループ (池田委員長)
- ・50 回年会での記念シンポジウム、記念企画 18 セッション、懇親会の実施が報告された。
 - ・記念誌発行や機関誌・ASCP 講義スライド等の会員専用ページ掲載が報告された。
- x. 臨床神経薬理研究基盤構築タスクフォース (服部委員長)
- ・精神科と脳神経内科の連携強化についての報告がされた。

3. 第 51 回年会準備状況報告 (宮川会長)

以下の通り、準備状況について報告がされた。

テーマ：脳と心の病に斬りこむ最前線

日 時：2021 年 7 月 14 日 (水) ~16 日 (金)

会 場：京都国際会館 (現地および Web のハイブリット開催を想定)

会 長：宮川 剛 (藤田医科大学)

懇親会：ネット開催を検討中

市民公開講座：第 44 回日本神経科学大会の市民講座「脳科学の達人」と共催し「脳科学の達人 X BPNP2021」を開催予定

合同開催：第 43 回日本生物学的精神医学会

4. 第 52 回年会準備状況報告 (井上会長)

以下の通り、準備状況について報告がされた。

日 時：2022 年 11 月 4 日 (金) ~6 日 (日)

会 場：都市センターホテル/砂防会館

会 長：井上 猛 (東京医科大学)

合同開催：第 44 回日本生物学的精神医学会

第 32 回日本臨床精神神経薬理学会

第 6 回日本精神薬学会

5. 2023 年年会計画について
引き続き検討を行うこととなった。
6. CINP および AsCNP について（池田先生）
学会開催予定および財務に関して報告がされた。

審議事項

1. 2020 年度決算報告および監査報告について（大隅財務委員長）
資料に基づき、大隅財務委員長より説明が行われ、承認された。
2. 2021 年度予算案（大隅財務委員長）
資料に基づき、大隅財務委員長より説明が行われ、承認された。
第 51 回年会より年会準備金を 150 万円に変更した。
3. 新評議員承認の件（北市総務委員長）
資料に基づき 4 名の候補が報告され、審議の結果、全員を承認した。
4. 新入会希望者の件（北市総務委員長）
2020 年 4 月 26 日から 11 月 11 日まで 16 名の入会申込があったことが報告され、全員を承認した。
5. 定款変更の件（北市総務委員長）
第 2 条（事務所）：事務局所在地の修正についての説明があり、評議員会での審議にかけられる旨が報告され、承認した。
6. 規則、規定、内規変更について（北市総務委員長）
「神経精神薬理振興基金運用規定」につき、従来、「5. 活動の終了後に報告義務として「日本神経精神薬理学雑誌」に当該活動の概要を報告する」とあるが、日本神経精神薬理学雑誌の廃刊に伴い、該当部分の削除を行うと共に、報告媒体につき、審議を行った。
学会ホームページにて掲載し、Facebook や Twitter にて掲載報告を行うことで、承認した。
7. 委員会、タスクフォース共に就任に関する規則について（北市委員長）
現状、委員会およびタスクフォース任期に関する明確なルールがなく、任期ごとに委員長が委員を指名している。一方で、特にタスクフォース等では専門性を鑑み、任期途中においても委員を指名する必要があるが、これについての運用が定められておらず、弾力的な委員会運営の妨げとなっている。ついで、『任期途中においても委員長から理事長に委員追加の申し出があり、理事長がこれを承認した際、委員を追加することができる』を追加したいとの要望があり、承認した。

以上

令和 2 年 11 月 14 日

一般社団法人 日本神経精神薬理学会 理事会

議長 代表理事 中 込 和 幸

出席理事 大 隅 典 子

出席理事 井 上 猛

出席理事 大 森 哲 郎

出席理事 岩 田 仲 生

出席理事 尾崎紀夫
出席理事 菊地哲朗
出席理事 喜田聡
出席理事 北市清幸
出席理事 久住一郎
出席理事 成田年
出席理事 橋本均
出席理事 服部信孝
出席理事 南雅文
出席理事 宮川剛
出席理事 宮田久嗣